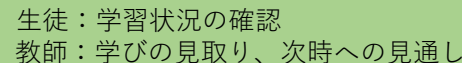
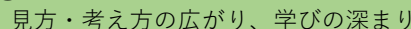


生徒が学習の見通しを持ち、
自らの学習をプランニングできる様に

個々に予想・疑問を持ち主体的に学べるように

[illegible]

リーディングDXスクール事業【実践事例】

小川村立小川中学校（長野県）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力の育成 ～情報の時間の設定～

【目的】

端末や情報を扱ううえで身につけたいスキルや知っておいてほしいことを学び、
教科学習、学級活動、生徒会等で活用できるようにする。

【概要】

- ・各学年で情報の授業担当者を決める
- ・総合の時間の中に5時間程度、
情報の時間を設定。
- ・各学年、目指す情報活用能力(スキル)
を設定し学習を進めた。



情報の授業ってなにをするの？

* Googleアプリの使い方

* 情報モラルやセキュリティについて

* 情報の扱い方（分析・整理・まとめ）

* 相手を意識した発表の方法・・・など

**端末や情報を扱う時に知っておきたい知識を
実際に端末を扱いながら身につけて行こう！**

R6年度 小川中学校 【育てたい情報活用能力】（学習内容一覧表）

学習内容		1学年	2学年	3学年
[A] 基本的な操作	(1) キーボード入力やインターネット等での情報閲覧			
	(2) 図表の作成、取り込み方法など			
	(3) 図表や引用文献の表示の仕方、情報の扱い方など			
	(4) 目的に応じたアプリケーションの選択と操作			
	(5) クラウドを活用した協働作業			
[B] 問題解決・ 探究における 情報活用	問題解決や課題を意識した、情報収集や整理・分析し、解決に向けた見通し（計画）を持つことができる (1)			
	問題解決のために集めた情報を整理・分析し、自分のことばでまとめる (2)	☆		
	他者との関わりや情報共有などの学び合いによって、自己の考えを深めたり、新たな視点を取り入れたりしながら、自己を成長させようとする (3)		☆	
	表現方法を相手や目的に合わせて選択し自他の情報を組み合わせて適切に表現する (4)			☆
	自らの情報活用を評価し、改善しようとする (5)			
[C] 情報モラル・ セキュリティ	(1) 情報社会での情報の役割（大切さ・危険性）			
	(2) 自他の情報の大切さ・守るための方法			
	相互通信を伴う情報手段に関する知識を持ち、責任を持った活用を身につける (3)			
	情報を多面的・多角的に捉えたり、情報を比較して情報の真偽を捉えたりする力 (4)			
	情報や情報技術をよりよい生活や社会づくりに活かそうとする。 (5)			

リーディングDXスクール事業【実践事例】

小川村立小川中学校（長野県）【指定校】

【取組内容】校務DX（標準仕様とクラウドを活用し教員の働き方改革につなげる取組）

【校内チャットの活用】

- ・日報 ・生徒の情報共有
- ・業務の確認・連絡
- ・各種通信の共有 など



【共有ドライブの活用】

学年・生徒会・係など、
ドライブの活用によって情報共有や資料作成の時短

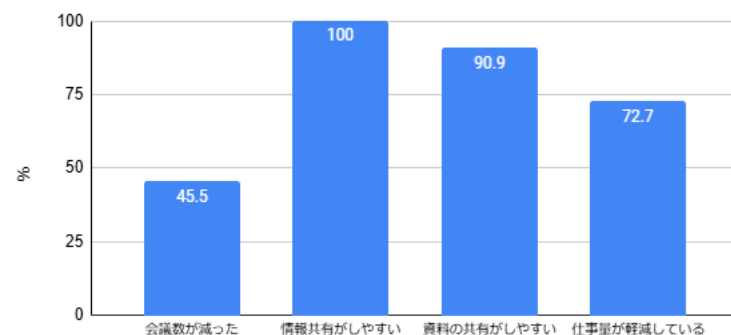


【ドライブにファイルを保存(共有)し、共同編集】

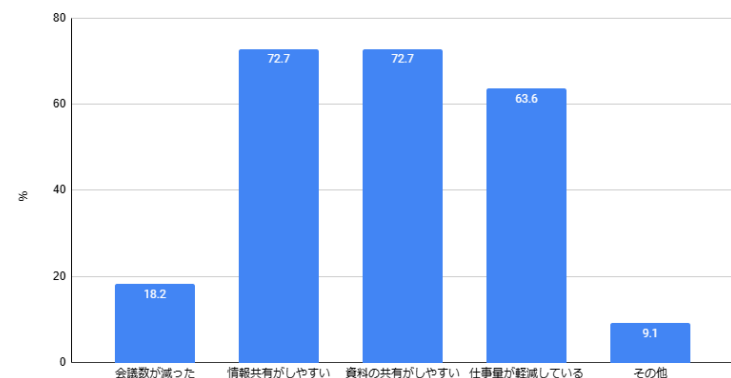
指導案や感想用紙などを授業者が添付。
→ 集約・印刷など、系の負担が軽減

公開授業&合同授業予定（6月～7月）						【お願い】	
						*一人一公開に授業をあてられる先生は、指導案を添付してください。	
						*指導案を作成されない先生は、6/6のものを参考に、授業内容の入力をお願いします。	
No.	日にち	時間	教科	備考	指導案など	感想記入用紙	学習カード
1	6/6 (木)	2校時	音楽	昨年度も合同授業をしていて面識はある	6/6 授業内容	感想記入用紙	
2		3校時	国語				
3			情報		1学年 情報の時間		
4	6/7 (金)	5校時	情報	授業後研修会あり	2年生「小川村は消えるか」		2学年 教材計画用紙
5			情報		3学年「情報の時間」	情報の時間	
6	6/14 (金)	5校時	体育	協力校 ICT活用	6/14 小中合同		
7	6/20 (木)	6校時	英語				
8		5校時	数学	6校時は授業参観			
9	7/17 (水)	5校時	社会		1年社会「中国の食事」		
10			理科	授業後研修会あり	2年理科		
			家庭科		消費生活	感想記入用紙	

チャットの活用で便利になったと感じること



Googleドライブを活用することで便利だと感じていること



職員へのアンケート結果より

チャット・ドライブの活用により、
情報や資料の共有がしやすいこと、
印刷・配布などにかかる時間の削減に有効。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

小川村立小川中学校（長野県）【指定校】

【取組内容】 協力校とのオンライン合同授業

【目的】

山間地小規模校である本校の生徒に、多様な意見を聞く機会・多様な見方・考え方に触れる機会をつくる

【実施内容】

＊近隣中学校とのオンライン合同授業を行う

＊生徒が意見交換をしたり、できるだけ多くの意見を参考にできるようにしたりするために、ファイルを共有し、互いの考えを共有し合える学習環境を用意する

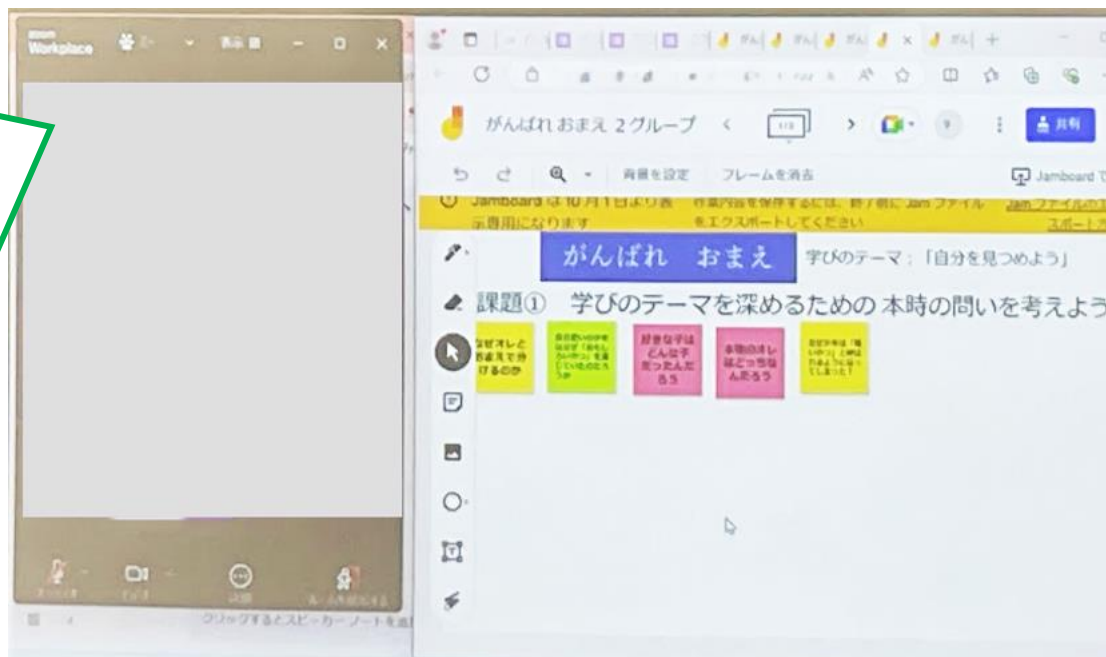
＊生徒が意見交換をしながら主体的に学べる場面を設定する

【生徒たちの様子】

- ・積極的に意見を伝えようとする姿が見られる
- ・さまざまな考えに触れることで、考えの妥当性に気づき、自信につながっているようだ
- ・教師の出方が難しいが、普段の学習集団の中では消極的になってしまう生徒も意欲的に取り組む姿が見られる。

【生徒の感想】

- ・普段聞くことができない、いろんな意見が聞けて良かった。



リーディングDXスクール事業【GIGA×情活能力】

小川村立小川中学校

【GIGA×情活能力】 情報活用能力の向上による、情報収集・整理・分析・まとめ

<考察>

この学習の中では、学習問題の解決のために思考ツールを活用し、情報の収集・整理・分析により学習を深めている様子がうかがえる。

情報活用能力の効果

- ・①の場面のように、資料から情報を読み取り、思考を広げること、他者参照や資料の比較により、自らの考えを広げたり、深めたりすることができる。
- ・②に見られるように、与えられた情報だけでなく、自らの力で情報を収集し、整理・分析等考察していくことにより、学びが深まり、自らの言葉で表現することができるようになってきていると考えられる。
- ・このような学習を繰り返すことにより、ICT機器の基本操作を習得することができ、基本操作を習得することで表現力が高まると考えられる。
- ・自分の主張の根拠となる資料を効果的に配置することにより、個の学びが深まるとともに、このまとめを見た他の生徒にとっての学びも深まっている。

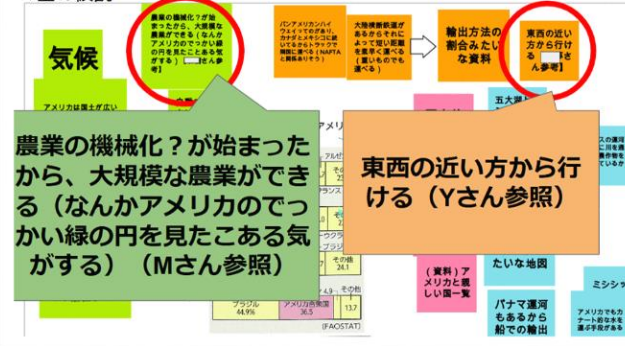
R6年度 小川中学校【育てたい情報活用能力】

学習内容	
[A] 基本的な操作	(1) キーボード入力やインターネット等での情報閲覧
	(2) 図表の作成、取り込み方法など
	(3) 図表や引用文献の表示の仕方、情報の扱い方など
	(4) 目的に応じたアプリケーションの選択と操作
	(5) クラウドを活用した協働作業
[B] 問題解決・探求における情報活用	(1) 問題解決や課題を意識した、情報収集や整理・分析し、解決に向けた見直し(計画)を持つことができる
	(2) 問題解決のために集めた情報を整理・分析し、自分のことばでまとめる
	(3) 他者との関わりや情報共有などの学び合いによって、自己の考えを深めたり、新たな視点を取り入れたりしながら、自己を成長させようとする
	(4) 表現方法を相手や目的に合わせて選択し自他の情報を組み合わせで適切に表現する
	(5) 自らの情報活用を評価し、改善しようとする
[C] 情報モラル・セキュリティ	(1) 情報社会での情報の役割(大切さ・危険性)
	(2) 自他の情報の大切さ・守るための方法
	(3) 相互通信を伴う情報手段に関する知識を持ち、責任を持った活用を身につける
	(4) 情報を多面的・多角的に捉えたり、情報を比較して情報の真偽を捉えたりする力
	(5) 情報や情報技術をよりよい生活や社会づくりに活かそうとする。

① 情報収集・整理・分析

- ・教師から提示された資料を読み取り、情報を分析。
- ・他者参照をし、収集した情報を自らの仮説検証のために整理・分析を行う。

T生の仮説



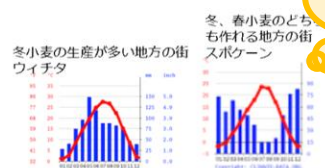
T生の検証結果

気候説 広い土地を活かして様々な農業を

遠藤先生の図のようにアメリカの農業には沢山の種類のがある。

冬小麦を生産しているウィチタでは実りの時期の初夏に降水量が多い中条で小麦を育てることができるようにアメリカでも育てれる?

アメリカの一部の地域では冬小麦と春小麦のどちらでも作れることがわかった
米の生産ではコットンベルトと同じ地方で生産されている (どちらも降水量が結構必要) このように広い国土だからこそ様々な気候を生かした様々な作物を作る農業ができることがわかった



② 集めた情報をまとめる

- 仮説検証のために集めた情報を整理・分析。結果を資料を効果的に使用しながら自分の言葉でまとめている。

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

小川村立小川中学校（長野県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 振り返りシートによる生徒の学びの見取り（スプレッドシートの活用）

<考察>

1. 進捗状況と振り返り

・進捗状況と学習の振り返りから、学習の理解度やつまづき、学習支援のポイントを把握

個別の支援

- ・振り返りの内容によって、コメント機能でアドバイスや補足説明、参考URLを添付。
- ・次時の学習の際、資料提供や、疑問への回答を行う。

2. 取り組みに関する自己評価

- ・生徒が自らの取り組みをふり返ることで、次時以降の取り組み目標や自己の力を把握することにつながる。
- ・生徒自身が自己の取り組みをどのように評価しているかを教師が知ることで、生徒への支援の仕方、学習指導の改善につなげられる。

3. カウントによるアウトプット量の把握

- ・アウトプット量を意識することで、本時の学びから考えたこと、疑問、次時への目標など生徒の学びの具体がわかる振り返りに変わった。
- ・アウトプット量の増加＝インプット量の増加と考え、文字数の少ない生徒には声かけを行い、インプット量・アウトプット量を増やせるように支援。

進捗状況、学習の振り返り

進捗状況	振り返り	進捗状況	振り返り
MISSION N.3	トラブルに遇って消費者が保証される法律はたくさんあるけど一方的に契約の解除を求めるのはできないからシミュレーションを通して文書でできるのは特約なんだと思った。当該特約がなくても商品もコストの削減とか様々な工夫がされているんじゃないかと思った。今度はブランドの商品色やデザインも考えてみたいと思った。	LAST MISSION	フランチャイズ店やPBは意外と身近にあるんだなと思った。タカさんの身に起こったことが将来自分にも起こるかもしれないという知識を身に付けて被害にあわないようにしようと思った。社会も家庭も色々な色々つながっているんだなと思った。
MISSION N.3	できる、できないとははじめても、他の人とは考え方が全然違うんじゃないかと思いました。アドバイスを受けるのは良いかもしれないけど、もし自分が出す方だったら出さなければいけないんじゃないかと思いました。時間とかも結構しっかり冷静に考えて対処し、わからないことがあったら相談することが大事と考えました。	LAST MISSION	プリントに入りました。エンカの前書きはあまり知られておらず、これからは大事になってくるので、今のうちから考えていきたいです。授業で良い（商品、コスト）ものがこれからは求められるんだなと思いました。社会も家庭が大事
MISSION N.3	消費者側が思わぬ契約を結んでしまった場合、約一週間以内なら契約を取り消せることがわかった。購入した商品は原本商品で来ると思っていたけれど、商品購入はあくまで「契約」なのでそう簡単には解除できないなあ、と今日調査してびっくりした。	まとめ	フェアトレードは聞いたことがあったけどよく知らなかったの、原材料を作ってくれている現地の人に対して感謝の気持ちを伝えられるいい場だとなっていてよかった。
MISSION N.3	返品に店舗側の義務がなく、あくまで店舗側のサービスである。クーリングオフ制度について調査した。	LAST MISSION	

取り組みに関する自己評価

アウトプット量を意識させた振り返り

A生の振り返り
(アウトプット量意識前)

授業の振り返り

論説は理由付けがきちんとしていなければ説得力がないと思った。今回のように次回からも三角口ジックを用いてまとめていきたい。

本文から筆者の主張を見つけることができた。ゴリラに限らず、敵対的なイメージにされた動物は沢山いるなと思った。

A生の振り返り
(アウトプット量意識後)

授業の振り返り	文字数
登場人物の名前が似ていて少し混乱した。チャーとはどんな動物なのかすごく気になった。ヤンおばさんがずっとコンパスと言われているのがなぜだろうと思った。ルトウの姿が変わってしまったらシュイシジョンがいくらか痩せたりのりから昔に比べて生活が困難だったのかなと思った。度々出てくる跳ね魚も気になった。ルトウと顔を合わす機会がなかったのはなぜかと思った。「鬼おとし」や「犬じらし」など聞き慣れないものがたくさんあった。近所の親戚の対応だけで4,5日も潰れたのはなぜか気になった。	248
時代背景や故郷当時の出来事から鲁迅がどういう人だったかを知ることができた。相関図がまだできていないので鲁迅との関係を理解できるようにしていきたい。特にルトウやルトウの父との描写に着目して読み取ってみたい。	105

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

小川村立小川中学校（長野県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 資料提供やコメントを即時に

<考察>

1・2の事例のように、GIGA環境を活用することにより、教師－生徒、生徒－生徒のコミュニケーションがとりやすくなっている。

例 1

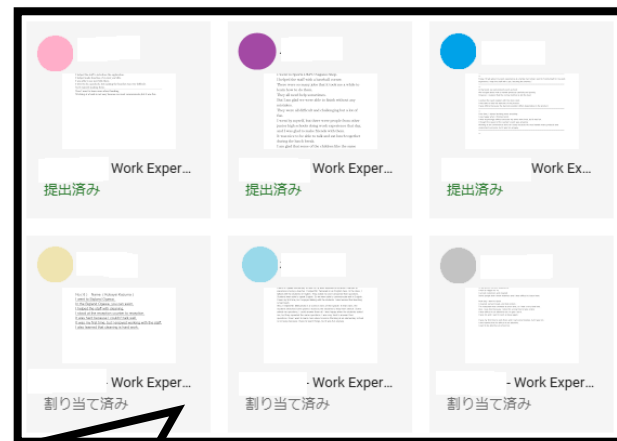
- ・生徒が自分が必要だと考える資料を教師に要求し、データで生徒に提供できる。
- ・生徒の状況を把握しながら、教師が生徒の学び促進に効果的だと思う資料を提供することも可能。
- ・また、個々のやりとりではなく、学級全員が見ることができるスペースでやりとりをすることで、他の生徒の学びにもいかされる。

例 2

- ・生徒はコメントを見て即時に修正をしたり、あとから修正をしたりと、自分の学習ペースに合わせて修正を加えることができる。
- ・教師は、生徒が課題に取り組んでいる最中に添削をすることができる。
- ・教師は、一覧で学習状況を把握することで、単元展開や指導内容を振り返り、次時にいかすことができる。



1. 自分の仮説検証のために必要だと考えた資料を教師に要求し、教師が資料提供(チャットの利用)



Work Experience Report

No. () Name ()

I went to Sports DEPO Nagano Shop.
I helped the staff with a baseball corner.
There were so many jobs that it took me a while to learn how to do them.
They all need help sometimes.
But I am glad we were able to finish without any mistakes.
They were all difficult and challenging but a lot of fun.
I went by myself, but there were people from other junior high schools doing work experience that day, and I was glad to make friends with them.
It was nice to be able to talk and eat lunch together during the lunch break.
I am glad that some of the children like the same things as me and I was able to make friends with them right away.

14:10 11月14日
many

14:12 11月14日
moneyからmanyに変換

14:17 11月14日
difficult にしよう

14:18 11月14日
difficultからdifficultに変換

2. レポート課題に取り組む生徒のドキュメントシートを一覧表示し、生徒個々の学習状況、記入内容を確認し、即時添削を行う。(コメント機能の活用)

リーディングDXスクール事業【GIGA×教科】

小川村立小川中学校（長野県）【指定校】

【GIGA×中・英語】 個の学びを促進する英作文指導

<考察>

授業のポイント

単元の学習中に、最終課題「職場体験レポート」を作成し、ALTに職場体験について伝える」ために必要な文章表現や単語などの参考資料を書き集め(②)、最終課題に取り組む際の参考資料とした点。

課題の達成

- ◎ 1時間の授業で、すべての生徒がA4 1枚程度の英文レポートを書くことができた。
- 単元内の見通しを持って自分が使いたい表現を収集していたことが役立っている。
- ・各自で作成した参考資料だけでなく、友達のレポートや参考資料を共有し、必要な時に参照できる環境も有効だったと考えられる。
- ・③のように、生徒がレポート作成中に教師による即時添削を行ったことで、レポート作成がスムーズであった。

生徒の様子

教師が与える文例や表現技法のみでなく、学習の中で、自分が使用したい表現や技法を選択し、収集することで、自分の思いが相手に伝わるよう工夫をしようという意欲が高まった。

教師

ICT機器の活用により、生徒の作成過程での、個々のつまづきや学力などを把握することができ、指導しやすい。また、データが手元にあるため評価がしやすい。

クラスへの連絡事項を入力
本時の目標： 先生に伝えるために職場体験のレポートを書く。

① 生徒への指示

手順

- ①添付「Work Experience Report」のドキュメントを開き、職場体験レポートを書く。
- ②教科書や今まで学習してきた「職場体験レポート作成の進め方シート」を参考にする。
- ③自分の集めた英文を参考にする。
- ④友達と意見交換をし、自分のレポートの参考にする。
- ⑤レポートをチャットにあげ、友達と共有する。
- ⑥時間内にレポートを完成させる。
- ⑦振り返りを記入する。

評価： 先生に伝えるための職場体験レポートができているか。

評価ポイント

- ・不定詞の副詞的用法や接続詞becauseを含む構文を用いて、職場体験のレポートを書くことができる
- ・伝えたい内容を整理し、順序立ててまとまりのある英文を作成することができる (Opening, Body, Ending)
- ・先生に伝えるために、自分が体験したことや感想を書こうとしている

課題：職場体験レポートを作るために役に立つ表現を集める。

- 手順：①教科書をよく読んで、職場体験レポートに使えるような表現を書く。文でも語句でも構わない。
- ②Googleなどを使って自分の使えるような表現を書く。
 - ③友達と教え合いながら知った表現を書く。

② 個別の学習シート

使えるような英語表現

日本語

Today, I'll talk about my work experience at ~

今日は、～での職場体験についてお話します。

I went to ~ for my work experience.

私は職業体験で～へ行きました。

I helped a ~ with ~.

私は～のときに～の手伝いをしました。

I helped the staff with a ~.

私は～でスタッフのお手伝いをしました。

It was my first time, but ~

初めてでしたが、～でした。

I ~ because I ~.

～したので、(動詞)～でした。

Work Experience Report

No () Name ()

I went to Sports DEPO Nagano Shop.
I helped the staff with a baseball corner.
There were so many jobs that it took me a while to learn how to do them.
They all need help sometimes.
But I am glad we were able to finish without any mistakes.
They were all difficult and challenging but a lot of fun.
I went by myself, but there were people from other junior high schools doing work experience that day, and I was glad to make friends with them.
It was nice to be able to talk and eat lunch together during the lunch break.
I am glad that some of the children like the same things as me and I was able to make friends with them right away.

③ ②を元に作成したレポート

many
moneyからmanyに変更
difficultにしよう
difficultからdifficultに変更

レポート作成中の
教師と生徒のやりとり

リーディングDXスクール事業【GIGA×教科】

小川村立小川中学校（長野県）【指定校】

【GIGA×中・国語】 生徒が学び方を選択できる個別最適な授業

<考察>

授業のポイント

生徒が使いやすい思考ツールを選択し、筆者の主張を要約したり、自分の考えをまとめるために収集した情報を整理・分析しながら、自分の考えを整理していく。

指導の工夫

・生徒自身で学習の手立てを決める。

→ 思考ツールを数種類用意することで、生徒が自分の学び方を選択して学習を進めることができる。

・個別の学びを充実させることで協働を生む

→ 思考ツールを使い、個別の学びが深まることで、他者の学びが気になったり、1人では解決できない課題が出てきたりする。そこで生徒はかかわり合ったり、他者参照をしたりしながら学びを深めていく姿が見られた。

ICT活用により、1つの授業の中でも、学び方の選択肢が広がり、生徒が自己の力を向上させるために学ぶための環境作りができる。

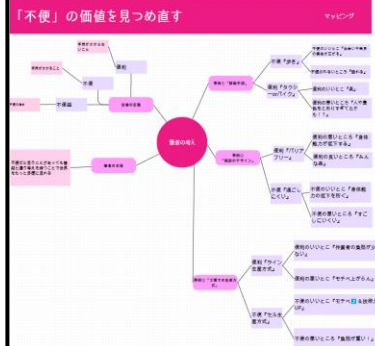
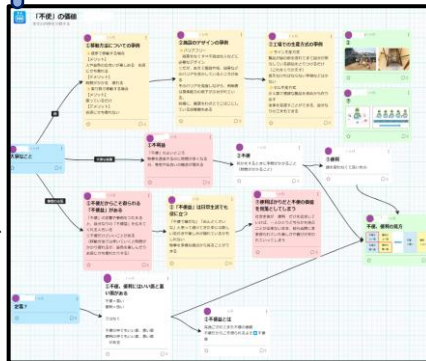
単元目標

1 単元名「価値を見いだす」（「『不便』の価値を見つめ直す」）

2 目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 (情報2/A)	・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。 (C読む1/U)	・進んで文章を読み、必要な情報に着目して要約しようとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

生徒が選択できる思考ツール



学習の手順の提示

① 「不便」の価値を見つめ直す②

・11月13日

【学習課題】

筆者の主張を要約し、「不便益」に対する自分の考えをもとう

【今日の課題】

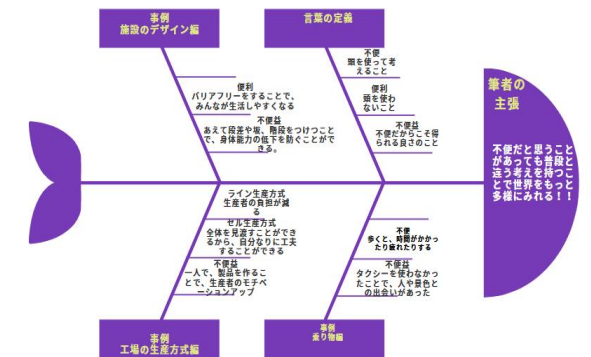
「必要な情報」を意識しながら本文の内容をまとめよう

【流れ】

- ①筆者の主張を要約する上で「必要な情報」とは何か考える
- ②本文の内容をまとめる手立てを決める
例) マッピング、図式化、段落構成図、箇条書き、フィッシュボーン など
- ③「必要な情報」を意識しながら自分の決めたまとめ方で内容を整理していく
×そのまま抜き出すだけ×
○要点だけをまとめる○
○できるだけ筆者の言葉を使う○
- ④授業で学んだことを振り返る

「不便」の価値を見つめ直す

A FISHBONE DIAGRAM



NAME: DATE: CLASS: TEACHER:

リーディングDXスクール事業【GIGA×教科】

小川村立小川中学校（長野県）【指定校】

【GIGA×中・社会】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した学習

<考察>

* 授業のポイント *

架空の人物の消費生活についてアドバイスをするという課題に取り組むことを通して、さまざまな資料を活用し、意見交換をしたりしながら、得た情報を比較・検討し、生活の維持・向上のために消費生活を送るうえで大切なことは何かを考ええた点。

* 指導の工夫 *

・提示する資料の調整と調査ができる環境

→ 教師の提示する資料や教科書に記載されていることと自分の経験とのちがいに疑問を持った生徒は、他者参照や意見交換をする中で、より良い答えを見つけようとする。

(2)

また、教科書・資料だけではわからないことをインターネットを活用して調べることができる。

(3)

・困った時に見るヒント、必要な時に見る資料の提示 (4)

→ 生徒が必要だと感じた時に見ることができる資料やURLを記載することで、各自のペース、自分の知りたいことを深める学習ができる。

ICT機器の活用により、生徒が必要な時に必要な情報を得られること、教師は個々の学習状況を容易に見取ることができる。

1. 単元名 「消費生活と市場経済」

2. 目標

- (1) 既習事項や新たな情報や事例等を読み取り、考えることを通して経済活動の意義（人間の生活の維持・向上）について理解できる。（知識・技能）
- (2) 情報を収集したり、意見交換をしたりしながら、個人の経済活動における役割と責任や生活の維持・向上のために消費生活を送るうえで大切なことは何かを多面的・多角的に考察したり、判断したりすることができる。（思考・判断・表現）
- (3) 消費生活において課題を解決し、生活の維持・向上を図るための方法を粘り強く考え、他者に伝えようとして（主体的に取り組む態度）

【流れ】全4時間（今日は3時間目）

1. 続き：タカさんの消費生活の困り感を解消してあげよう・・・個別・協働

(1) MISSIONに取り組んでいこう！

- ・困った時は、友達や先生にどんどん聞いたり、スライドを共有しよう。
- 席を移動してももちろんOKです。

(2) MISSION 3 までできたら先生に報告！

(3) LASTMISSIONに取りかろう！

(4) LASTMISSIONが終わった人は、前の机にあるプリントに取り組む！

2. 振り返り

* 進捗状況と振り返り（分かったこと・疑問、発見など）を入力しよう

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1HieHOXxwJwvyg1KQA7KD6t3HW9nRQbD1OX0MY8Xqg/edit?usp=sharing>MISSION 1 ～資料～.pdf
PDF

(4)

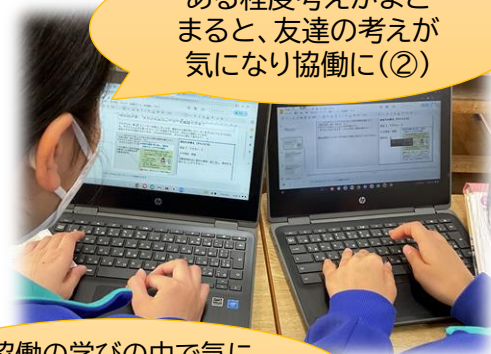
MISSION 3 ～資料～.pdf
PDF

進捗	振り返り	進捗	振り返り	進捗	振り返り	進捗	振り返り
授業中	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。	授業中	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。	授業中	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。	授業中	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。
授業後	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。	授業後	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。	授業後	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。	授業後	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。
授業中	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。	授業中	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。	授業中	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。	授業中	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。
授業後	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。	授業後	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。	授業後	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。	授業後	タカさんの消費生活の困り感を解消しようという課題に取り組む。自分自身の経験や知識を基にアドバイスを考える。友達や先生に相談する。資料やURLを活用して調べることができる。

まずは個で追究



ある程度考えがまとまると、友達の考えが気になり協働に(2)



協働の学びの中で気になったこと、不足している情報を調査(3)

